

京都創生

KYOTO SOUSEI

第16号



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。

平成29年4月に文化庁地域文化創生本部を設置 文化庁の本格移転先の候補地として4箇所5件を選定

平成28年3月に文化庁の京都への全面的な移転が決定し、8月の文化庁移転協議会において、平成29年度から一部先行移転が行われることが決定しました。12月の文化庁移転協議会では「文化庁の移転について」が取りまとめられ、先行移転として、平成29年4月に「地域文化創生本部」が京都市上下水道局旧東山営業所に設置されることとなりました。

また、本格移転先について、京都市・京都府から提案した11件に加え、国や独立行政法人の所有する施設等を含む14件、更には民間オフィスの借用についても検討がなされ、京都府警察本部本館、元安寧小学校の一部、京都国立博物館（本館、旧管理棟・資料棟等）、旧京都地方合同庁舎の4箇所5件が候補地に選ばれました。今後、必要となる組織体制の大枠を踏まえ、更なる検討が行われ、平成29年8月末を目途に庁舎の場所が決定されます。



■「地域文化創生本部」の概要

文化庁に期待される新たな政策ニーズに対応した事務・事業を地元の知見やノウハウ等を生かしながら先行的に実施。

- 設置時期：平成29年4月
- 庁舎の場所：京都市東山区東大路通松原上る3丁目毘沙門町43-3（京都市上下水道局旧東山営業所）
- 組織：本部長は文化庁長官、本部長代理は文化庁次長、副本部長は長官官房審議官、文化部長、文化財部長及び文化財鑑査官を充て、京都に常駐する事務局として、地元も協力して38人の体制を構築し、これまでの文化行政の枠組みにとらわれず、新たな政策ニーズに対応できる執行体制とする。
- 業務：①総括・政策研究グループ：主として創生本部の総括、文化に関する政策調査研究、国際文化交流等を行う。
②暮らしの文化・アートグループ：主として地域の幅広い文化芸術資源の活用による地方創生、経済活性化及び人材育成、伝統工芸や生活文化に関する調査研究等を行う。
③広域文化観光・まちづくりグループ：主として文化財等を生かした広域文化観光及びまちづくりの推進、これらに関するモデル開発等を行う。

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

第25回京都創生連続セミナー「京都迎賓館～美と技の継承～」を開催

開催日 平成28年12月17日(土)

会場 キャンパスプラザ京都

当フォーラムと京都市では、歴史と伝統を受け継ぎながら、世界の人々を魅了し続ける京都を、未来に大切に引き継いでいくために、私たち一人ひとりができることを考えるきっかけとなるよう、「京都創生連続セミナー」を開催しています。

今回は、京都の伝統工芸の匠の技と芸術の粋が凝縮され、平成28年7月より通年での一般公開が開始された「京都迎賓館」をテーマに開催しました。

当日は、11月に和装を着用しての海外賓客のお出迎えを開始した京都迎賓館から、和装(袴)を纏った警衛官も同席する中、取組内容をご紹介いただいた後、「京都迎賓館～美と技の継承～」をテーマに、京都工芸繊維大学名誉教授の中村昌生氏にご講演いただきました。

京都迎賓館伝統的技能活用委員会の委員長も務められた中村氏からは、京都迎賓館は「庭屋一如(ていおくいちにょ)」というテーマのもと、建物と自然豊かな庭園や池が一体となって穏やかな景観や環境を作り上げるなど、日本人が長い時間をかけて育んできた自然観、生活観が反映された施設であるとともに、使用された材料や材質、数々の調度品を紹介しながら、官民一体となって伝統技法の匠の技や芸術文化の奥深さの粋を込めた施設であることをお話いただきました。

一般公開だけでは知ることができない話を通じて、京都迎賓館が京都の持つ文化・芸術といかに繋がっているのかを確認できる、またとない機会となりました。



講演の様子

京都創生PR事業 あまの京 in 東京 2017 ～恋する京都ウィークス～を開催

京都市、京都商工会議所、(公社)京都市観光協会、及び当フォーラムでは、京都創生PR事業「京あるき in 東京 2017」を開催しました。7回目となる今回は、平成29年2月4日から3月5日までの1カ月間、200を超える企業や団体、大学に参画いただき、東京都内各所で京都の魅力を発信する111の催しを実施しました。

丸の内のKITTE 1階 アトリウムで初日の2月4日に開催しましたオープニングイベントでは、開演前に観覧希望のお客様でイベントスペースの周囲に長い列ができるほどの盛況ぶりでした。「生け花と能の会」では、生け花・能・漆という異なるジャンルのそれぞれの継承者が伝統文化に親しめるひとつの舞台を作り上げたほか、門川京都市長とのオープニングトークでは、京都市出身の女優である吉岡里帆氏をゲストにお迎えし、京都館館長の小山薫堂氏、華道「未生流笹岡」家元の笹岡隆甫氏とともに、伝統文化にとどまらない京都での文化活動や文化発信について語り合っていました。

今後も「京あるき in 東京」を通じて京都の魅力を様々な角度から発信し、首都圏をはじめ全国から京都創生を応援いただけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。



オープニングイベント 生け花と能の会



オープニングイベント 会場の様子

奥深い京都の魅力を東京で発信！「京都創生連続講座 in 東京」を開催

当フォーラムと京都市では、「京あるき in 東京 2017」の開催期間中に、「国家戦略としての京都創生」の取組をより多くの皆様に理解・応援していただけるよう、「京都創生連続講座 in 東京」を開催しました。

当日は、第1部・第2部を通して、およそ延べ600名の皆様にご来場いただくなど、盛況のうちに終了し、首都圏の皆さんとともに京都の未来について考える有意義な機会となりました。

開催日 平成29年2月24日(金) **会場** 大和ハウス東京ビル

■第1部 京町家トーク「祇園祭と京町家」

基調講演に先立ち、(公財)京都市景観・まちづくりセンターから京町家の改修等に助成される「京町家まちづくりファンド」の取組について報告されました。

基調講演では、「町衆が育む京の美意識」をテーマに、京都生活工芸館無名舎舎主の吉田孝次郎氏からお話を伺いました。お住まいの京町家を復元したことが美意識の発露であり、四季折々の床の間の飾りや建具替えて劇的に変わる家の表情、自然を屋内に取り込んだ庭等、日々の生活から美意識が磨かれていることが語られました。

後半は、京都大学大学院教授の増井正哉氏を聞き手にお迎えし、「京のくらし、まつり、年中行事」をテーマに吉田氏との対談が行われました。祭にはその土地の生活や思想が表れること、町家は単なる生活空間ではなく、祭の舞台として京の年中行事を支え、文化を継承していることが語られました。また、吉田氏の自宅前に建てられたホテルが、町並みになじむデザインを自主的に採用した事例等を交え、地域の景観に与える京町家の可能性や、伝統文化への思いについてお話を聞くことができました。



対談の様子

■第2部 「古典の日」から考える～雅の平安文化力～

冒頭、「古典の日」の普及啓発の取組等について、古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサーの山本壯太氏からご説明いただきました。

続けて、平安時代の流行歌である「今様」を競い、白拍子が舞う、「今様合(いまようあわせ)」が行われました。(公財)有斐斎弘道館代表理事の濱崎加奈子氏による解説を交えながら、今様白拍子研究所の皆様が即興で作った今様を詠み、判者(はんじゃ)の判定を受けた後、白拍子を舞う姿が披露されると、会場が雅の雰囲気になりました。



今様合の実演



講演の様子

後半は、「京都における平安文化とこれからの文化創生」をテーマに、(公財)冷泉家時雨亭文庫常務理事の冷泉貴実子氏にご講演いただきました。古今和歌集等に収められた和歌を題材に、和歌を通じて時を超え伝えられてきた型のある美しさを感じることに喜びを見出してきたのが日本人であり、それ故に京都は生き長らえてきたと、日本文化創生に当たって京都ならではの「平安文化力」が有する可能性をお話いただきました。

京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」第28弾が登場！

当フォーラムと京都市では、京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」を発行しており、第28弾となる今回のテーマは、「大政奉還150周年」です。

今年は、江戸幕府15代将軍徳川慶喜が二条城二の丸御殿大広間において、朝廷への政権返上を表明した大政奉還から150年となります。京都市では、幕末維新に京都で活躍した先人たちとゆかりを持つ都市とともに「大政奉還150周年記念プロジェクト」を実施します。

このポスターを多くの方にご覧いただき、改めて京都がもつ歴史的・文化的資産の素晴らしさをご認識いただくとともに、かけがえのない文化を守り、育て、未来に伝えていく機運を高めていきたいと考えております。

※本ポスターと同デザインの京都市営地下鉄「1dayフリーチケット」も発売予定です！



※当フォーラムの各事業の詳細については、「京都創生推進フォーラム」のホームページにアクセスすればご覧いただくことができます。(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

京都創生推進フォーラムのホームページでも、当会員が実施する催しを紹介しています。
(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

事業名	概要	開催期間	会場（住所）	料金	申込	主催者等
異色南蛮茶会 —序章—	中国の生佛・布袋尊を本尊とする布袋山町に何故南蛮寺ができたのか謎に迫ります。	4/1(土) 12:00~17:00	名勝 無鄰菴 (京都市左京区南禅寺草川町31番地)	1,500円	要 (先着30名様まで)	一般社団法人 祇園祭布袋山保存会 (090-9213-7626)
仁和寺 霊宝館春季名宝展	国宝阿弥陀三尊像をはじめ、仁和寺に伝わる宝物を多数公開します。	4/1(土) ~5/28(日) 9:00~17:00	霊宝館（仁和寺内） (京都市右京区御室大内33)	500円	不要	仁和寺 (075-461-1155)
第69回桧垣バレエ団 公演 Yukiko Konishi Recital Vol. 6	団を牽引してきた小西裕紀子氏の代表作をスロベニア国立バレエ団とコラボします。	4/28(金) 19:00~21:00	ロームシアター京都 サウスホール (京都市左京区岡崎最勝寺町13)	1階自由席 5,000円 2階自由席 4,000円 (当日券は各500円UP)	要 (当日券あり)	一般社団法人 桧垣バレエ団 (0774-62-0588)
京都三曲協会 第28回定期演奏会	京都三曲協会会員による年に一度の定期演奏会	4/29(土・祝) 11:00~17:00 (予定)	京都府立文化芸術会館 (京都市上京区寺町通広小路下る東桜町1)	2,000円	不要	京都三曲協会 (075-841-3099 月・水・金の午前中)
青空子ども博物館 in 円山	京都大学の学生が楽しく研究を教える子ども向け体験型イベント	5/6(土) 13:30~16:00	円山公園音楽堂 (京都市東山区円山町円山公園・南)	無料	不要	京都大学総合博物館 子ども博物館 (京都大学総合博物館「ミュゼップ」 075-255-6586)
真箏会 箏曲演奏会	古典音楽、箏、三絃、尺八による演奏会	5/14(日) 13:00~16:30	上七軒歌舞練場 (京都市上京区今出川通七本松西入真盛町742)	無料	不要	河本 淑子 (075-462-8972)
京の地形と京都人が 育ててきた京野菜	京野菜を京都の人々がどのように育て利用してきたかを学びます。	5/26(金) 13:30~15:30	京都労働者総合会館 3階 (京都市中京区壬生仙念町30-2)	1,500円	要	公益社団法人 京都勤労者学園 (075-801-5925)
中井猛師を偲んで	没後4年、中井猛師を偲び、ゆかりの曲を各社中が演奏します。	5/28(日) 12:30~16:30	kokoka京都市国際交流会館イベントホール (京都市左京区栗田口鳥居町2番地の1)	無料	不要	濱田 健 (075-491-7639)
第68回京都薪能	初夏の風物詩・京都薪能。平安神宮で幽玄の世界が繰り広げられます。	6/1(木) ~6/2(金) 18:00~21:00	平安神宮 (京都市左京区岡崎西天王町97)	前売券 4,000円 (前売券は前日まで各プレイガイドにて販売、当日券は当日会場入口で販売)	要 (当日券あり)	京都市文化芸術企画課 (075-366-0033) 一般社団法人京都能楽会 (075-771-6114)
第77回龍門社書展	楷、行、草、隸、篆五体のバラエティに富んだ力強い作品を展示する予定	6/7(水) ~6/11(日) 9:00~17:00	京都市美術館別館 1階、2階 (京都市左京区岡崎円勝寺町124)	無料	不要	龍門社 (075-601-0683)

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。

○内容は、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」 第16号

発行日 平成29年3月30日

発行 京都創生推進フォーラム (事務局：(公財) 京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通奥川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)